

東京 IPO 特別コラム

2017年7月7日 Vol.87

短冊に願いを込めて

普段忙しくされている皆さんは空を見上げて仰ぎ見る機会は少なくなったのではないのでしょうか。今日は七夕。年に一度だけ織姫と彦星が会えるという日に人々は短冊に願いを込めて思いを書きしたため、笹飾りにします。皆さんの願いは何でしょうか。保育園に預けられる子供たちの願いはドラえもんに会えるだの戦隊ものの勇士になるだの無邪気で良いですが、大人の皆さんは北朝鮮からのミサイル飛来が日常茶飯事となる中で平和への祈りでしょうか、それとも上場後に低迷する IPO 銘柄の株価上昇に向けた祈りでしょうか。それぞれの皆さんごとに願いごとは多岐に渡り、心の中の笹飾りが重く垂れ下がっているのかも知れません。

日経平均が 2 万円台に乗せても今一つ元氣になれない市場環境が個別銘柄にも重くのしかかり、年前半の IPO 銘柄に見られる調整場面がいつになったら抜け出せるのか、期待を込めて投資した銘柄がなかなか思ったほど上がらない現実に思わず、早く上がってくれと願っておられるのかも知れません。投資家の気持ちは千差万別。日本に生まれた者同士。ここは都知事選で大勝利を収めた小池都知事に頑張ってもらいたいと願うもよし、歴史的敗退をした自民党を率いる安倍首相にもう一発、景気を良くしてほしいとか、個別銘柄の業績向上を願うとかなど、とにかく結果としての株高に向けた願いを短冊に込めるしかないようです。

2017 年前半もあっという間に過ぎてしまいこの間に IPO した 39 の銘柄は悲喜こもごもの展開を見せています。今から振り返ると初値が高過ぎたと感じられる直近の IPO 銘柄にはしばしの調整局面を余儀なくされている銘柄もありますが、概ね IPO 銘柄の値動きは堅調なようです。事業内容が理解されれば再び評価されるものと期待されます。調整中の銘柄は短冊に願いをしたため出直りの時期を待つことにしたいと思います。7 月はまず 12 日に地方及び中堅・中小企業向けネットビジネス支援事業を展開するソウルドアウト（6553・公開価格 1200 円）がマザーズに登場してきます。このところの業績拡大ピッチが速く、12 月期決算の第一四半期業績の進捗率が高いのが目につきます。好業績を背景に社名の通り売り切れ状態なのか年後半の IPO 相場の手始めとしては要注目の銘柄と言えます。驚くことに上場時の発行済み株数 267 万株のうち 41 万株が公募でその残りすべてが売り出されることになっています。年後半の最初の IPO 銘柄に皆様の期待と願いが七夕の短冊に込められそうです。

（東京 IPO コラムニスト 松尾範久）